

いせ

た か ぶ く お か し ら し ん じ

高向御頭神事



厳かで勇壮なる祭り この思いを世代に伝えたい……
伝統と文化の継承をぜひあなたも感じとる……

毎年、2月の第2土曜日に伊勢市御園町高向にて、高向大社のお祭り『御頭神事』が行われます。『御頭神事』は古くからこの地の伝統行事として834年もの歳月をかけて受け継がれ、そして生活に根付いております。

国指定重要無形文化財

高向御頭神事

三重県伊勢市御園町高向
電話: 0596(85)5616

伊勢市教育委員会



高向区

『高向御頭神事』のあらまし

「御頭神事」の起源は、養和年間(1181～82)全国的な天候凶変や悪疫が流行り、多くの村人が病に倒れ死んでいくなか、神童の木昌少年が御神体の御頭(おかしら)を出し郷内を巡り、お祓い清めの踊りを舞い悪霊を祓い去ったことであると伝えられています。この御頭は、長暦二年(1038)に本滝定行なる人が、大柳木から2体の御頭を彫刻し、大社・鎭社に奉納したものである。



神事では、早朝より大社(カミ)さん、鎭(カブラ)さんの2体の御頭が大社・会所・禊屋(とうや)宅にて「七起しの舞」を舞い、高向大社や各家々を一軒ずつ巡る「フクメモノ」を行いながら無病息災を祈願し、斬祓祭場で集めた邪気を祓い神に戻るという行事です。

打祭りと呼ばれる夜の祭典では、松明の火の粉が舞い落ちる中、御頭を振るさまは実に勇壮である。800年以上の歴史を秘めた伝統ある行事で、昭和28年5月県指定無形文化財に、同52年5月国指定重要無形民俗文化財に指定されています。

高向大社

天平三年(731)に、高向の曾禰處行昭が、初めて祭祀したと神社記は伝えています。祭神はスサノオノミコトと一族七神といわれています。明治41年10月、に鎭社・山神社・八幡社を高向大社に合祀しました。

鎭社は、貞観三年(861)八月、三津正盛なる人が、鎭矢大明神とし勧請し祀った神社で、加布良社ともいわれ、現在は、跡地に碑が建立されています。



禊屋番

高向大社のご分霊を自宅の前にお迎えし、一年を通して大社のお世話をする禊屋(とうや)制度が維持されています。禊屋が自宅の玄関先に御分霊を祀る「おわけさん」を祭壇し、禊屋番として奉仕します。現在は、大社(かみ)・鎭社(かぶら)に分かれて、2軒であたっている。



七起しの舞

獅子頭は「お頭さん」と親しみ込めて呼ばれており、大社（カミ）さん、鎚（カブラ）さんの2体のお頭は、大社・会所・禊屋宅にて七起しの舞を奉納する。

杉太夫（すぎだゆう）と呼ばれる舞手、神楽を担う神楽衆（かぐらしゆう）の演奏で、スサノオノ尊のヤマタノオロチ退治の神話をかたどったものとされている。舞は七段構成になっており、次の順序で行われる。



- | | |
|------------|---|
| 中門入 | ヤマタノオロチの出現を表す |
| 初段 おこし | ヤマタノオロチが生贄であるクシナダヒメを求めて歩き回る |
| 二段目 にのこうじ | スサノオノミコトの企み事により用意された酒樽にクシナダヒメの姿が映り、大蛇が喜びを示す |
| 三段目 りんがん | 大蛇が八つの酒樽に首を突っ込み美酒を飲み干す。 |
| 四段目 きりびょうし | 大蛇が酒に酔いしれて、暴れまわる |
| 五段目 とりまめ | ついに酔った酒に眠りにけてしまい、寝床を探す |
| 六段目 かみあげ | スサノオノミコトが出現し、大蛇は退治され神と変わる |
| 七段目 すらへその1 | 大蛇が神に代わって天上するところ |
| すらへその2 | 神となった大蛇が邪気を祓い、世を治める結びの舞 |



布久目物（フクメモノ）



お頭が区内の一軒一軒ごとを廻り、邪気払いに出る儀式。各家の入口にはお頭を迎え入れるため、門竹を祀り、玄関先でフクメモノを行う。各戸ではセチやひねりを用意するが、現在は御鏡料などを準備する。

「フクメモノ召されの」と声をかけ、玄関前でお頭が訪れ、「エイトー エイトー」と唱え2拝する。共盛団が中心となりお頭とともに300軒近くの家々を廻ります。



共盛団

日中の布久目物や夜間の打祭りに従事する16歳から41歳までの男性で構成されている。神祭の中心的役割を果たし、鏑さんは23歳、大社さんは26歳がそれぞれ神男としてたずさわり「サンヤ」、「ロクヤ」など掛け声を叫び、お頭を上げるときや唐戸に納める役割を担う。

夜の祭典

打祭り

夜の祭りを「打祭り」といって、燃え上がる松明の中で行われる勇壮な行事です。ボンドと呼ばれる場所にお頭さんの唐櫃を納め、お頭さんは夜間の衣装に替えます。共盛団や会所役員、袴屋番、参加者全員が白無垢の衣装に着替え、ここからは、共盛団が中心的となり、燃え盛る火の中をお頭を振りながら巡ります。会所まで行き、ツムギを三周廻って斬祓場に向かい、その場でお頭を舞い着でくるみ、会所まで団員全員で走って無事到着すると、唐櫃の上に安置し、本日のお頭神事は滞りなく終了します。

その後、ツムギ祭場にてお方踊りを行い、最後、打祭り行事の無事終了を報告する挨拶、そして高向区長の挨拶にて神事の終了となります。



平成28年 御頭神事予定表 (2月13日 齊行)

大社		鎗社		内 容
6 : 3 0	会所集合	6 : 3 0	会所集合	御頭庫より御頭出庫
6 : 4 5	御頭行列出発	6 : 4 5	御頭行列出発	会所挨拶
7 : 0 0	御頭衣装付け	7 : 0 0	御頭衣装付け	
8 : 0 0	神社祭典	8 : 0 0	神社祭典	来賓そろわなくても祭典始める
9 : 0 0	日和見	9 : 0 0	日和見	二十三・二十六歳役人集合
9 : 1 0	七起こし舞い奉納		七起こし舞い奉納	不浄除け石一周
1 1 : 0 0	高向大社出発	1 1 : 0 0	高向大社出発	
	小殿拝礼		小殿拝礼	
	布久目物 1 0 戸		布久目物 9 1 戸	社務所終え各戸へ
1 1 : 1 5	禱屋 大西 肇 宅	1 3 : 1 5	禱屋 北村 弥寿 宅	会所・氏子総代部屋を出れば御棚・杉太夫・神楽衆は、舞準備する大社は天狗面、鎗社は能面
	七起こし舞奉納		七起こし舞い奉納	
	口取り舞奉納		口取り舞い奉納	
1 2 : 4 5	禱屋宅出発	1 4 : 4 5	禱屋宅出発	
	布久目物 1 0 3 戸		布久目物 2 2 戸	
1 5 : 2 0	会所着	1 5 : 1 5	会所宅	
	七起こし舞い奉納		七起こし舞い奉納	「夜間」交代
1 6 : 5 5	会所出発	1 6 : 4 5	会所出発	両社とも会所
	布久目物 8 2 戸		布久目物 8 1 戸	高張り同行する
1 8 : 5 5	ボンド着	1 8 : 4 5	ボンド着	
	御頭「夜間」衣装替え		御頭「夜間」衣装替え	
	受取渡し		受取渡し	「ボンド」にて、立ち会い 対等の上、受け渡しを行う
2 1 : 0 0	打祭り開始	2 1 : 0 0	打祭り開始	松明を先頭に、会所横ツギ祭場を三周、斬り祓い祭場へ
2 2 : 1 0	斬り祓い	2 2 : 1 0	斬り祓い	
	お方踊り		お方踊り	共盛団員、会所横にて
2 2 : 3 0	打祭り終了	2 2 : 3 0	打祭り終了	共盛団長挨拶、区長謝辞
				万歳三唱

ゴーサゴサゴサシングエイグイ